

10

主語・述語・修飾語

氏名

クラス

番号

得点

100

1 次の各文の主語・述語の関係は、どの型に当てますか。あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。(3点×6)

- ① わたしの父は会社員だ。
- ② 沿道にはたくさんのお客がいる。
- ③ 僕はすることがなくて退屈だ。
- ④ 猫が体を丸めて眠る。
- ⑤ 箱の中には何もなかった。
- ⑥ この川は日本一長い。

- ア 何(だれ)が—どうする
- イ 何(だれ)が—どんなだ
- ウ 何(だれ)が—何だ
- エ 何(だれ)が—ある(いる・ない)

④	①
ア	ウ
⑤	②
エ	エ
⑥	③
イ	イ

2 次の—線部の述語に対する主語を抜き出さない。ただし、主語が省略されている場合は△を書きなさい。(3点×4)

- ① わたしは、母が選んだ洋服を着た。
- ② 彼の身に何かあったのかと心配する。
- ③ 兄が買ってきた本を、僕が読む。
- ④ わたしも村田さんが急いで帰るのを見た。

③	①
僕が	わたしは
④	②
わたしも	△

3 次の—線部のうち、主語ではないものを一つ選び、記号で答えなさい。(4点)

- ア 君こそ僕たちのチームのリーダーだ。
- イ 子供だつてこれくらいのことにはわかる。
- ウ 昨日は雨で泳ぎに行けなかった。
- エ 妹までわたしの失敗を笑った。

ウ

4 次の各文の、I：主語と、II：述語を、それぞれ抜き出さない。(3点×10)

- ① いたずらな弟に、母さえ手を焼いた。
- ② もうすぐ高校生だよ、姉も。
- ③ なぜかここだけいつまでも寒い。
- ④ だれもが彼の功績を認めた。
- ⑤ 今度こそ僕が話をつけよう。

⑤	④	③	②	①
I	I	I	I	I
僕が	だれもが	ここだけ	姉も	母さえ
II	II	II	II	II
つけよう	認めた	寒い	高校生だよ	焼いた

5 次の—線部が修飾している文節を抜き出さない。(4点×5)

- ① 辺り一面がすっかり白い雪で覆われる。
- ② ふろ場のガラスが湯気で曇る。
- ③ きれいに飾られた料理に感動する。
- ④ 祖母の元気な声を聞いて安心した。
- ⑤ たぶん彼は待っていても来ないだろう。

⑤	③	①
来ないだろう	飾られた	覆われる
	④	②
	声を	ガラスが

6 次の—線部が連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと記号で答えなさい。(4点×4)

- ① つばめが、巣にいるひなにえさを運ぶ。
- ② 楽しい時間は、あつという間に過ぎる。
- ③ 写真から楽しげな様子が伝わってくる。
- ④ 六時に起きて、犬を散歩に連れ出す。

①	B
②	A
③	A
④	B